



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2013年10月②発行

<議会報告> 決算委員会第2分科会の報告

◆都市計画局

◎屋外広告物指導の在り方について、了承も取らず、囑託職員が店の看板を写真で撮ったことに対して、苦情があり、市民の目線で取り組む必要性を質疑しました。⇒理事者からは、写真の承諾を得ようとすると店先でトラブルになる場合があるので、承諾を取らずにやったと答弁。

◆建設局

◎バス運行の改善のために道路改修を!

西賀茂車庫以北にバスが走る方向で検討委員会が始まりましたが、現在提案されているバスルートは、要望の強い西賀茂の高橋近くまでは道の環境が悪く走りにくいとのこと。道の専門部門として、バスの走行環境改善の為に、道を改善して、住民の要望に応えるよう質疑しました。

◎土木事務所の道路改修の予算枠を増額し、生活道路の改修をすすめよ!

◆教育委員会

◎教職員の超過勤務の把握の改善を!

カードリーダーなど活用し、教職員の超勤状況をしっかり把握を強化すべきと提案しました。

◎スクールソーシャルワーカーの配置拡大を!

学校現場に、社会福祉士などの福祉の専門家が入り、子ども達の支援をすることは、これからもっと求められる。配置目標が16か所というが、少なすぎるもっと増やすべきと追及しました。

◎養護教諭(保健室の先生)の配置基準の改善を国に求め、増員を!

◆保健福祉局

◎育児支援ヘルパーの制度の拡充と周知をすすめよ!

支援が必要な育児への支援なのに初めから12回と回数制限があるのはおかしい。必要な訪問数を設定することを求めました。

◎生活保護基準の引き下げの撤回とエアコン設置を市としても助成すべき。

◎新プール制により、給料やボーナスカットせざるを得ない保育の現場の状況を把握し、安定した給与の保障を!

消費税増税は絶対ストップを!

10月10日、円山音楽堂で「ストップ暴走政治! 消費税増税中止! 社会保障の大改悪を許すな! 京都府民集会」が開催され、京都市役所までデモ行進をしました。『消費税増税今はダメでしょ!』の一点で共同し運動を広げましょう!



左から浜田府議、井坂市議、玉本なるみ市議

つばやき:慢性疾患のオンパレードでも要支援1

びっくりしました。大阪の実家の父が、先日、介護保険の介護認定を受けました。父は脳の視神経部分が詰り、片目はほぼ失明状況です。しかも、右の下腿の閉塞性動脈硬化症で、右足の血液循環が悪く、家の中では歩けますが、外では長く歩けません。睡眠時無呼吸症候群があり、寝る時は、シーパップという酸素マスクをしなくてはなりません。昼間も、肺機能が悪い為、在宅酸素療法をしており、酸素吸入を鼻カニューレでしています。

しかし、ご飯も、トイレも自分で行けるので、介護認定では一番軽い要支援1になりました。しかし、人間としての豊かな暮らしができるかという、外出の困難性ややりたいこと等にも制限が加わる状況です。病気がいっぱいあっても、介護認定には関係ないことが、父の認定からわかりました。

介護の状況も今のところは何とかありますが、父や母のこれからの人生を考えた時に、医療費のことや生活に不安のない社会を実現することは、高齢化社会に向けても、切実な問題だと、実感します。消費税増税と社会保障の一体改革のもとでの、福祉の後退は許せません!



藤森 毅著 新日本出版社

いじめ・体罰を考えるシンポジウム第2弾が開催され、大反響でした。日本共産党中央委員会文教委員の藤森毅さんが、いじめ問題について、泣いて、考えた」というお話しは、いじめに苦しんでいる側に立ち、解決の道を探ろうと取り組まれてきたもので、タイトルの本も出されました。

いじめにより息子さんが自殺された木下さんのお話や、会場からも、35年前にいじめられたことをきっかけに、今尚、そのトラウマに苦しむ母と子のお話、体罰を受け、自殺した息子さんのことをお話しただいたお母さん……。涙を堪えての勇気を出しての発言に、自分自身に奮い立つ思いが込み上げました。

キーワードは「子どもの命最優先」です。

相手の気持ちを考えられる子どもへの教育、学校や社会からいじめ体罰を一掃する取り組みが求められています。大人の社会でのブラッック企業も同じです。大きな運動を起こしていきたいと思いました。

アンテナ

いじめ解決の政治学

